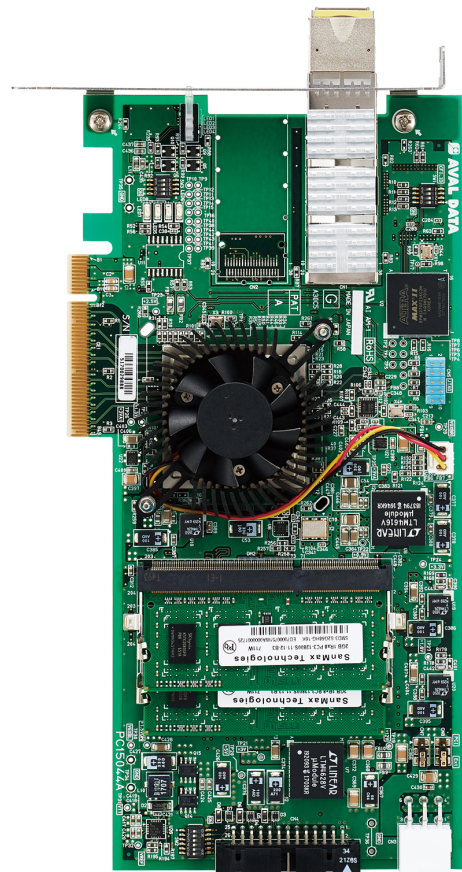


転送速度 40Gbps 対応 光 I/F カメラ向け Opt-C:Link 画像入力ボード「APX-3841」を開発！

株式会社アバールデータ（以下アバール。代表：広光 勲、本社：東京都町田市旭町1-25-10、URL：<http://www.avaldata.co.jp>、E-Mail:sales@avaldata.co.jp）は、転送速度 40Gbps に対応した光インターフェース(以下 I/F)Opt-C:Link 画像入力ボード「APX-3841」を新たに開発、**2019年1月15日より発売開始する。**

「APX-3841」は、超高速カメラに対応するために、アバールが開発したマシンビジョン向けの光カメラ I/F Opt-C:Link に対応する画像入力ボード。“QSFP+”光モジュールを使用することで、1ch あたり 40Gbps の転送速度実現している。カメラと入力ボードを光ファイバでつなぐことで、ノイズに強く、数百メートルの接続も可能、画像データと制御信号も同じ光通信で実現でき省配線にも貢献する。



型名	: APX-3841
価格	: ¥ 240,000 (税別)
受注開始	: 2019年1月15日
出荷開始	: 2019年1月15日

■ 製品に関する問い合わせ先

株式会社アバールデータ 営業部

電話：042-732-1030 FAX：042-732-1032

電子メール：sales@avaldata.co.jp

ホームページ：<http://www.avaldata.co.jp>

News Release

AVALDATA CORPORATION

■ 製品の特長

- 40Gbps QSFP+光モジュールを採用
- 実転送帯域 3.2GB/s にて高速データ転送
- 光が媒体であるためノイズに強く、数百メートルの延長も可能
- 画像データ以外の制御系信号も光通信で実現できるため省配線に貢献
- パケット構造を簡易化し安価なデバイスへの実装が可能
- 外部 I/O インターフェース搭載
- PCI Express 3.0 (Gen3) ×8 レーン対応

■ パネル正面



■ 製品仕様

型名	APX-3841
通信コネクタ (画像入力)	40Gbps QSFP+ 光モジュール
通信プロトコル	Opt-C:Link (アパールデータ独自プロトコル)
通信能力(理論値)	3.2GByte/s
共有メモリ	DDR3 SO-DIMM : 800MHz (DDR3-1600) 2G× 2
共有レジスタ	16KByte
Configuration	PFL:MAX2+Flash Memory(Parallel)
通信ケーブル	MPO 付 10G 光ファイバーケーブル コネクタ形式 : MPO、伝送モード : MultiMode、コア径 : 50μm、 ファイバ種類 : OM3
外部 I/O	X64C-2634(オムロン)
ステータス表示	表示フロントパネルに LED (LNK/ERR/ACT) (LNK/ERR/ACT)
システム bus	PCI Express3.0(Gen3) 8GT/s× 8
電源	+12V± 8%
環境	動作温度 0 ~50℃ 保存温度 -20 ~70℃ 動作湿度 35 ~80% (無結露) 保存湿度 35 ~80% (無結露)
外形寸法	217.65mm×111.15mm (突起物除く)、パネル幅 : 20mm

News Release

AVALDATA CORPORATION

重量	TBD
対応 OS	Windows
環境対応	RoHS
ソフトウェア (オプション)	開発キット : SDK-ACAP PULS

■対応予定カメラ

2019年1月現在、本光 I/F を搭載したカメラはオムロン・センテック社(12Mpix 279fps)のリリースが予定されている。

■Opt-C:Link とは

Opt-C:Link (オプト・シー・リンク) は、マシンビジョン分野の標準インターフェース「CameraLink」の弱点だった伝送距離の制限やノイズの影響を受ける環境での所用の難しさを解消するアバールデータが開発した光インターフェースのこと。大容量画像データの長距離伝送 (150m) を可能にします。転送速度も 1ch : 6.25Gbps の通信速度に対応。ノイズに強く、画像データと制御信号も同じ光通信で実現でき省配線にも貢献します。カメラメーカーでは CIS、オムロンセンテックより対応カメラが発売されている。